

議員氏名：渡辺 訓任

議案番号：陳情第3号

案 件 名：地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情書

討論内容：

私は陳情第3号について、委員長報告に反対、陳情採択の立場で討論いたします。

本陳情は、来年度の予算編成に向けて、物価賃金の引上げなどに対応する一般財源の充実や、維持・修繕費の確保を求めています。我が町だけではなくて、人口減少と少子高齢化など担い手不足も相まって、これ以上地域を支えることができないとの悲鳴が全国で上がっているのではないかと認識しています。

地方自治体には、学校教育や社会保障、生活インフラの維持管理など、ナショナルミニマムを提供することが期待されています。しかし、それらについて、深刻な物価高、人件費の高騰、エネルギー価格の高騰など、それすらも達成が難しくなっているのが実情ではないでしょうか。

そもそも、地方分権とは名ばかりで、歴代政権は地方切捨て政策を進めてきたことが、現在の深刻な事態に立ち入っていると考えます。お題目どおり、自らの地域のことは自らの意思で決定し、その財源や権限、責任も自らが持つ地方分権で、地域のことは地域で決められるようになり、市民の声や地域の実情が行政サービスに反映されやすくなった、そのように実感されている方はどれくらいいらっしゃるのでしょうか。この総括と反省に立って、地方自治体が住民福祉の増進という役割を発揮できるよう、地方財政措置を拡充するのは当然であります。

本陳情で触れている全世代型の社会保障は、生活保護基準の引下げや介護保険料の見直し等について、OTC医薬品の保険外し、ケアプラン作成の有料化など、全世帯にわたる負担増と社会保障の削減にほかなりません。また、自治体業務システムの標準化は各自治体の主体性を押し潰してきたものであり、これらを是認することにも疑問があります。

こういう賛成できない点もありますけども、我が町にとっても、全国でも、地方財政の確立は重要であり、急務であると考え、本陳情は、大枠で私たちの願いである、これを反映したものだと考えます。そこで、小異を捨てて賛成するものです。

意見書作成の段階では、この指摘もあります10番の、町立病院がないという状況もありますので、意見書作成にはそういうところは勘案する必要があると思います。皆様のご賛同をよろしくお願いいたします。